

所属	経済学部	身分	教授
氏名	大須 眞治		
NAME	OSU SHINJI		

1. 研究課題

(和文) 農業集落と営農及び生活について実証研究

(英文) A Case Study of the Rural Community in Iwate, Japan

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文)

本研究は、岩手県気仙郡住田町にある1農業集落に焦点を当て、集落に関連する人々からの綿密な聞き取り調査を行い、聞き取りの結果から集落における農業生産、農家生活の現状についてそこに起こっている事態について多面的な分析を試みるものである。

今日、日本の農業・農村は一般的に衰退の傾向にあることが言われており、その傾向は多くの農業集落で進行している事態である。農業・農村の衰退はまぬがれない事実として存在しているとはいえ、その衰退傾向は一律に同じような速度で進んでいるわけではない。

その可能性を最大限に伸ばしていく方向としてはどのようなものがありえるかを知るために、農業集落を構成する個々人の経済的な基盤を解明し、それぞれの日常生活とそこから出てくる思考、感覚についてまで、集落再生の視点で分析することが必要となる。

農業集落を構成する人々の個々の生活や農業のあり方から農業集落再生の方向を探りだそうとするのが本研究の課題である。

本研究は農業集落の構成員の実態調査を行い、農業集落がその構成員によってどのように捉えられているかを把握することができた。

以後は今回の成果と以前に行った実態調査の結果を踏まえてどのような農業集落再生の道が可能性を探求する。

(英

This study aims to analyze not only economic but humanistic character of people who live in or are related to T rural community in S town. It is necessary to find the way to revitalize rural community. Today in Japan, almost all of the rural community fall into a decline. Based on above research, policy implications for the development of rural community were presented.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

研究ノート「S町T集落をめぐる人々(1)」『経済学論纂』(中央大学)

第51巻第5・6合併号 2011年3月31日発行

研究ノート「S町T集落をめぐる人々(2)」『経済学論纂』(中央大学)

第52巻第2号 2012年1月発行

研究ノート「S町T集落をめぐる人々(3)」『経済学論纂』(中央大学)

第52巻第5・6合併号 2012年3月30日発行

【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)